



新しい1年

校長 安達 修久

4月になるのを待っていたかのように、古くからある校庭のサクラ「ソメイヨシノ」の枝々で、つぼみが次々に花開き始めました。昨年度中150周年の記念にと、花ボランティアの方々にご協力いただいて植えたサクラ「陽光」は、3月の間にピンクの花を咲かせていました。まだ苗木を植えたばかりなので、木の丈も小さく花も数少ないのですが、いずれ大きく育っていくことでしょう。150周年記念にと、こちらも花ボランティアの方々にご協力いただいて4組のみんながつくった花壇では、黄色く「150」の文字をかたどったピオラという花が、山のように盛り上がって元気に咲き誇っています。

こうして春たけなわの4月8日(月)、令和6年度がスタートします。地域・保護者の皆様におかれましては、151年目となる今年度も、引き続き変わらぬご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。

新たに入学者を迎える1年生を迎えるの班登校は、時刻を5分遅らせて「8時15分から20分の間に門を通る」ことに変更しました。そして登校班での登校を見直し、班での登校を行わない時期をつくることにしました。当面1年生が学校へ通うのに慣れるまでは、従来通り班登校を行います。この間、子どもたちの登校の様子を見ながら、時期について検討していきます。当然、登校班で通ってくるときには、班のメンバー同士協力し合って、安全に並んで歩くように指導していきます。各ご家庭、各登校班におかれましても、ご協力をよろしくお願いいたします。

そしてまた新年度のスタートから改めて、子どもたちに「しっかりあいさつ」「いじめはしない させない ゆるさない(そのために、人と言葉を大切に)」「自分から」の3つを伝え、実現に向けてともに努力していきます。学校教育目標「たのしい わたしの学校へうけとめ つたえ ともにあゆむ～」に向かって、子どもたちとともに教職員一同一丸となって、日々の教育活動を行っていききたいと思います。

150周年の記念行事などを、中心になって牽引し活躍した6年生が、3月に卒業していきました。そして新たに4月の入学式から、1年生が仲間に加わります。昨年度末をもって離退任した教職員が惜しまれつつ本校を去り、4月1日をもって新たな教職員が着任して、151年目の新生釜利谷小学校のスタートとなります。4月4日には、新年度準備に新6年生たちが登校し、校内の様々な場所で令和6年度に向けた作業を行いました。その働きぶりは、次の最高学年にふさわしい頼もしさにあふれていました。

本校の永い歴史の中で、毎年このようなことが繰り返され、同じ釜利谷小学校でありながら少しずつ変化をしつつ、つながって続いてきました。古い木造建築が朽ちた木材を交換したり、塗装の塗り直し修復を行ったりしても同じ建築物であるように、年度ごとに学校の体制が変わっても、活動の進め方が変わっても、釜利谷小学校は変わらず釜利谷小学校であり、151年目の今年からさらに続いていきます。151年目にここにいるわたしたちは、未来に続く釜利谷小学校の新しい1年を、胸をはってつくっていきます。